

令和7年(2025年)8月 新着図書

分類	No.	図書名	著者・編者名	発行年月	出版社名	内容
A	344	絵本戦争 禁書される アメリカの未来	堂本かおる	2025年1月	太田出版	黒人、LGBTQ、女性、障害、ラティノ／ヒスパニック、アジア系、イスラム教徒、アメリカ先住民……8つのトピックにわけて、禁書運動の犠牲となった数々の絵本を一冊ずつ見ていくことで、マイノリティの苦難の歴史と、その中で力強く生きる姿、そして深刻化している政治的な対立＜文化戦争＞の最前線を知る。
A	345	SDGs、ESG経営に必須! 多様性って何ですか? D&I、ジェンダー平等入門	羽生祥子	2022年1月	日経BP	ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)という概念を、ジェンダー平等を中心に据えながら分かりやすく解説している。企業や地域社会で人権を尊重するための実践的なヒントが得られる。
D	71	マンガ 認知症 (ちくま新書)	ニコ・ニコルソン・佐藤眞一	2020年6月	筑摩書房	「お金を盗られた」と言うのはなぜ? 突然怒りだすのはどうして? 認知症の人の心のなかを、マンガでわかりやすく解説する。認知症の人が既に五〇〇万人を超え、誰もが認知症になったり、認知症介護をしたりする時代。読めば心がラクになる、現代人の必読書!
F	367	全国のあいづぐ差別事件 2024年度版	部落解放・人権研究所	2024年11月	解放出版社	被差別部落に関わる差別事件を集約している本書最新版。「全国部落調査」復刻版出版事件、インターネット上の差別事件等項目毎に紹介、解説。
F	368	読みなおしの同和行政史	金井宏司	2024年6月	解放出版社	戦後の同和对策事業特別措置法がどのような議論や過程を経て成立したのか、聞き取りや実態調査、国会の記録などによって振り返る。
G	68	外国人の人権って? 「外国人」って、だれのこと? (気づくことで未来がかわる新しい人権学習 6)	稲葉 茂勝	2024年2月	岩崎書店	外国人の人権問題で大切なのは、日本人と同じように生きること。でも、日本人、外国人を分けるものはなんだろう? 文化、習慣、宗教の違いなど、多角的に学ぶ。
G	69	外国人と共生するニッポンへ	後藤裕幸	2019年3月	カナリアコミュニケーションズ	外国人向け、生活総合支援企業NO.1の社長が語る外国人も日本人も暮らしやすい国を目指して。このままでは日本は、ますますガラパゴス化へ! 入管改正後の日本はどうなるの? この先の日本の外国人受け入れを考えるための1冊。
H	115	菊池事件	徳田 靖之	2025年5月	かもがわ出版	開始されれば日本初となる死刑執行後の再審・無罪を求めて1951年熊本県での殺人事件で、ハンセン病患者のFさんが逮捕された。無実を訴えたが、隔離された特別法廷での非公開裁判で、訴えは聞き入れられなかった。その真相に迫る。
I	70	紙芝居 みつこの詩	吉永理巳子, 奥羽香織, 上月ひとみ	2023年9月	水俣病センター相思社	いまを生きる多くの大人に、子どもに、伝えたい水俣の物語。「水俣で生き抜いた女性の物語みつこは18歳。となり町から水俣湾のほとり、明神(みょうじん)にお嫁にきた。夫になる大矢二芳さんは、チッソ水俣工場で働いている。しばらくして、明神の海におかしなことが起こり始める。
I	71	水俣物語 MINAMATA STORY 1971~2024	小柴一良	2024年11月	弦書房	大阪生まれの著者は、大阪で開かれたチッソの株主総会で混乱する会場を撮影したことを契機に、水俣病事件とかわり始める。水俣現地で暮らし、生活者の視点で水俣を撮り続ける。「近代」が犠牲を強いた人間の生と死に、様々な姿があることを教えてくれる。
K	29	感染症と差別: 新型コロナ感染症が炙り出した分断と差別 (ブックレット 葉の花23)	高石伸人	2021年7月	福岡県人権研究所	新型コロナウイルスの感染拡大を通じて浮かび上がった社会の分断や差別の構造を深く掘り下げた一冊。感染症という危機の中で露呈した社会の差別性を見つめ直し、命の尊厳を守るために私たちが何をすべきかを考えるきっかけを与えてくれる。人権や福祉に関心のある方には、非常に示唆に富んだ内容。
L	16	サイト別 ネット中傷・炎上対応マニュアル 第4版	清水 陽平	2022年4月	弘文堂	ネット上のトラブルは突然起こり、個人の現在・未来の人間関係や、会社の顧客関係や売上に大きな影響を及ぼす。時には事業継続が困難になることもある。嫌がらせの投稿や画像、動画をどう消し、投稿者をどう特定するか。この本は、そのようなネットトラブルから自分や会社を守る1冊。
Z	163	あいつゲイだって アウティングはなぜ問題なのか?	松岡 宗嗣	2021年12月	柏書房	2021年11月の一橋大学アウティング事件判決後、2022年4月から中小企業でも防止対策が義務化された。性的指向や性自認の暴露が命の問題に繋がる背景には、以前から続く被害がある。学校や職場、ネットで誰もが加害者や被害者になりうる現状を当事者の痛みと共に描き、被害防止の必要性を訴えている。